

省エネ

再エネ

優遇税制

No2

2018.Feb

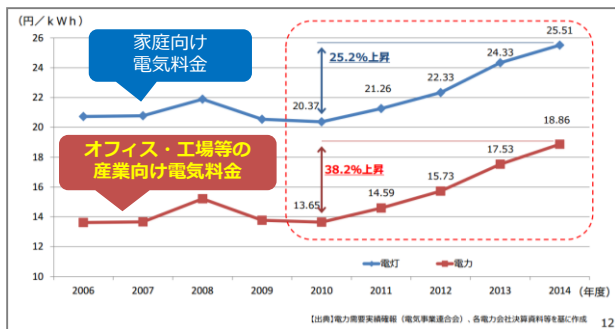
Oome News Letter

電気代は今後も上昇予測！対策するなら正に今です！！

企業の電力コストは増加の一途を辿る。

法人で設備保全やエネルギー管理業務に携わられている方であれば、実感として感じておられるところかと思いますが、オフィス・工場等の産業向け電気料金単価は増加の一途を辿っています。これらは「原発の停止」や「温暖化対策費用」の増加などが要因であると考えられています。

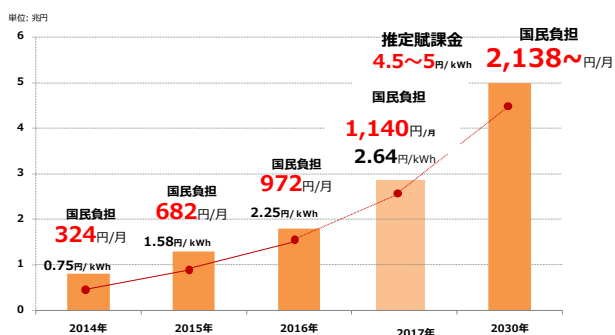
【電力単価の推移】



上昇を続ける賦課金単価も電気代を上げる要因の一つ！

再生可能エネルギーで発電した電気は電力会社が固定価格で買取りを実施するという制度が「固定価格買取制度 (FIT法)」と言われるものです。ではその買取る電気料金は一体どこから調達しているのでしょうか。実はそれは国民全員で負担しているのです。皆様の電気料金明細表をご確認頂ければ、「再エネ発電賦課金等」という項目をご確認頂けるといいます。これこそが正に再生可能エネルギー売電費用を賄うための費用なのです。この「賦課金」は法人・個人含め、電気を利用している者であれば平等に支払わなければなりません。また、もう一つ厄介なのは、この賦課金単価は毎年上昇し続けていることです。2015年は1.58円/kWh、2016年は2.26円/kWh、2017年は2.64円/kWh、そして2030年には4.5円～5円/kWhになると言われています。

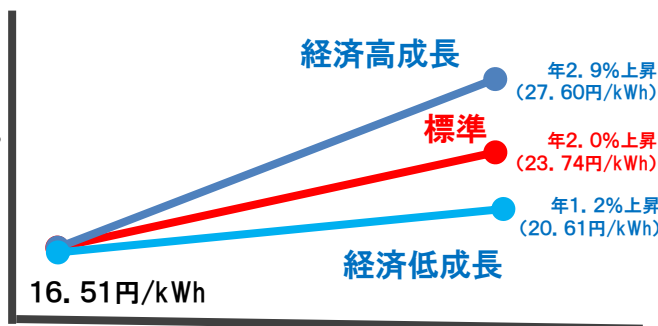
【賦課金単価の推移】



電力中央研究所も今後の電気代上昇を予測。

「電力中央研究所」というのは電気事業に関連する研究開発を行う期間です。この期間が今後の電気代見通しを立てたところ、経済が低成長の場合「1.2%/年上昇」、標準的な経済成長率の場合「2.0%/年上昇」、経済が高成長を遂げる場合、「2.9%/年上昇」というデータが出ています。これらの事実から電気代の上昇は避けて通れないでしょう。

【電気代上昇予測】



2012年度

2030年度

このように今後電気代上昇によって企業は大ダメージを受けます。弊社では電気料金下げる省エネ手法を熟知しております！ご質問・ご相談はお気軽にお電話でお問い合わせください！

株式会社大目商店

ご相談

各種申請

お見積り

無料

〒720-0843

広島県福山市赤坂町赤坂1389-1

TEL : 084-951-2334

FAX : 084-952-2038